

令和7年秋の火災予防運動 防火パレード出発式



大岡地区の消防団員 22分団の皆

令和7年 秋の火災予防運動が11月9日(日)から11月15日(土)までの7日間、実施されました。スローガンは「**急ぐ日 足止め火をとめ 準備よし**」で、地震火災、住宅防火、森林火災の予防を重点目標としています。これから、気温も下がり風も強くなる季節と共に暖房を使うことが多くなります。**火の始末には十分注意**しましょう。重点目標として以下のことを注意しましょう！**【住宅用火災報知器の点検】**…この機会に、自宅の住宅用火災警報器が正常に作動するか確認しましょう！**【放火防止対策】**…家の周りに燃えやすいものを置かない、扉を施錠する、玄関や家の周りを明るくするなど地域全体で放火を防ぐ意識を持つ事が大切です。

11月9日(日)、大岡地区の消防団員20分団・21分団・22分団の皆さんが大岡地区の巡回啓発活動を朝9時から行いました。大変お疲れさまでした。

令和7年 普通救命講習会 (AED)



地区センターのAED



普通救命講習会の風景

【日時】11月9日(日)9時～12時【場所】大岡地区センター【主催】消防防災部・女性部【参加人数】21名【講師】駿東伊豆消防本部3名
AEDとは、日本語では「自動体外式除細動器」といいます。AEDは心臓がけいれんする「心室細動」などの原因で心停止になった人に対し、電気ショックをあたえることで心臓の動きを正常に戻す医療機器です。医療従事者以外の人でも、音声ガイダンスに従って操作すれば救命処置ができるように作られています。AEDの重要性は、迅速な処置が鍵で心停止から電気ショックまでの時間が短いほど救命率が高いため、救急車が到着するまでの間にAEDを使用することが極めて重要です。2004年から一般市民も使用できるようになり、公共施設を中心に普及が進んでいます。AEDの使用は救命率を高め心肺蘇生法と併せて行うことで、救命率を格段に高めることができます。※事故によるけがなどで心停止になると、救命出来ないことも多いので、車に乗るときのシートベルトや、自転車に乗る時のヘルメットで、事故を防ぐことも大切です。



突然、倒れたり、反応がない人がいたら、周囲が安全か確認して、肩をたたきながら大丈夫ですか？と声がけ！(観察は10秒以内)直ぐに大声で応援を呼び、119番通報！呼吸がない。普通どおりの息ではない場合、

胸骨圧迫(心臓マッサージ)を開始する！AEDを使う！(AEDの音や表示に従い、落ちついて操作する。AEDを使った後は、胸骨圧迫を続ける。

救急隊に経過報告！その後、救急車や病院で、さらに高度な処置や専門な治療。